

# 3年1組 道徳指導案

日 時 令和元年11月29日（金）第5校時  
場 所 小島小学校 3年1組教室

## 1 主題構成表

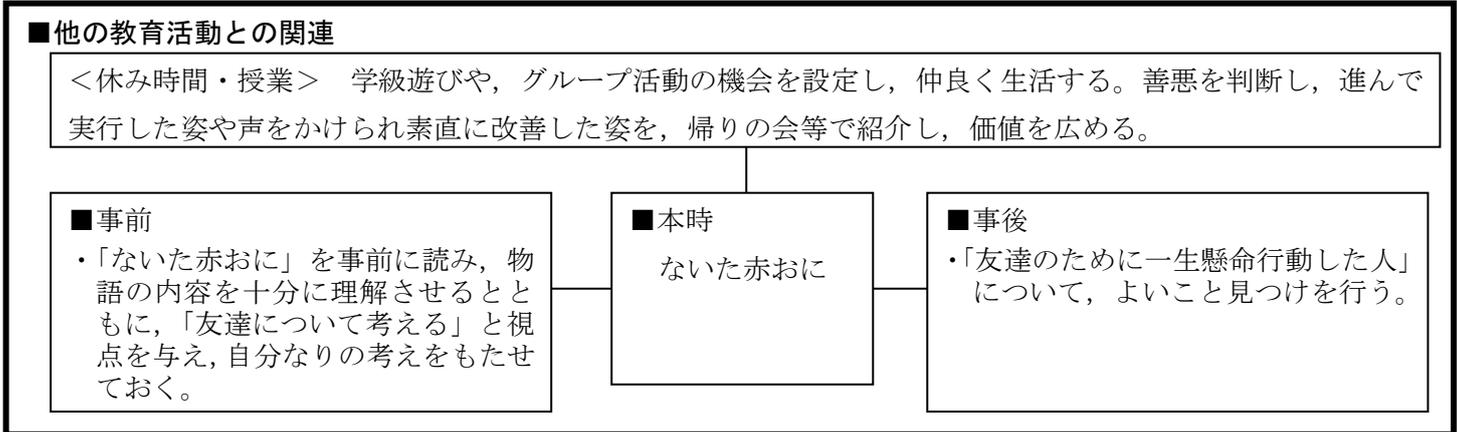
主題名 本当の友だち

教材名 ないた赤おに

<p>■内容項目</p> <p>B 友情, 信頼</p> <p>友達と互いに理解し, 信頼し, 助け合うこと。</p>	<p>■価値の分析</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「友達」とは, 共に学んだり遊んだりすることを通して, 互いに影響し合って構築されるものである。よりよい友達関係を築くには, 互いを理解し合い, 助け合い, 信頼感や友情を育てていくことが大切である。</li><li>・中学年のこの時期では, 活動範囲の広がりとともに, 友達関係も広がる中で, 自分の利害にこだわって, 友達とトラブルになる。友達と思いやりをもって仲良く過ごしたいという思いに気付かせ, 友人関係を広げることには生かすことが大切である。</li><li>・この時期の児童は, 気の合う友達同士で集団をする中で, 思いやりのある人に心動かすことができ, そのような人になりたいと思う心をもって来る。友達とのよりよい関係の在り方を考えたり, 助け合ったりする機会をつくり, お互いに理解し合い助け合う友達の大切さを感じ取らせたい。</li></ul>	<p>■教材の分析</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・本教材は, 人間と仲良くなりたいと願う赤おにのために, 自分が不利になることを承知の上で青おにが助け, 赤おには青おにの思いの深さに気付くという内容で, 青おにの友達のために尽くす素晴らしさに心打たれる教材である。互いに理解することや, 友達のために一生懸命になって助け合うことの大切さに気付くことができる内容である。</li><li>・青おにが悪者になることが分かっているにもかかわらず, 人間と仲良くなりたくて強く願う赤おにの気持ちに共感させる。</li><li>・手紙を書く青おにと, それをよむ赤おにの心情を同時に考えることで, それぞれの友達を思う気持ちに気付かせ, 「本当の友達」についての考えを深め, 友達の願いをかなえたいと思う気持ちや友達のために一生懸命になる気持ちを実感することができる。</li></ul>
---	---	---

■ねらい

友達の気持ちや願いが分かったら, 実現に向けて一生懸命助けたいという気持ちが友達を思う心であることに  
気づき, お互いを理解し合い助け合おうとする心情を育てる。



2 本時の展開

	基本発問と予想される児童の反応	指導・援助 *人権教育観点				
導入	1 「友達」について話し合う。 ○友達のどんなところが好きですか。 ・一緒に遊べる場所。優しいところ。 ・相談にのってくれるところ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「友達」についてのイメージを膨らませ、本時の学習の見通しをもたせる。</li> <li>・既習教材「友だち屋」で学んだ「本当の友達」のイメージを明らかにする。</li> </ul>				
展開前段	2 教材を読み、主人公の気持ちや行動について話し合う。 ○感想を發表しましょう。 ・人間に恐がられて、赤おにがさみしい気持ちなのが分かるよ。 ・青おにはどうして悪者になってまで赤おにを助けたのかな。 ・手紙を読んで泣く赤おにの悲しい気持ちが分かるよ。  ○青おにの提案を聞いて深く考え込んだとき、赤おにはどんな気持ちだったのでしょうか。 ・青おにが悪者になってしまうから、そんなの悪いよ。 ・失敗しないか心配だな。 ・いいアイデアだから、これできっと人間と仲良くなれる。  ◎手紙を書いているときの青おにや、手紙を読んで泣いたときの赤おには、どんな気持ちだったのでしょうか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材名、主題名を板書して、登場人物を確認し、内容をつかみやすくする。</li> <li>・範読の際には、共感できる部分（分かるな）、感心した部分（すごいな）、疑問に思った部分（どうしてだろう）に線を引かせ、感想につなげる。</li> <li>・感想を整理しながら板書に位置付け、問題となる場面を明らかにする。</li> <li>・赤おにが人間と仲良くなりたいたいと強く思っていること、赤おにのために青おにが作戦を考えたことを押さえる。</li> <li>・ペアで、赤おに役と青おに役に分かれ、お互いに気持ちをインタビューし合うことで、二人の登場人物の心情を同時に考えることができるようにする。</li> <li>・ペアで、おにたちの心情を考え、伝え合うことで、赤おにが泣いたときの心情を考えることで、泣いた理由には悲しみや感謝など様々な考え方があると気付かせる。（他者理解）</li> <li>・深めの発問の話し合いでは、導入時の友達のイメージに立ち返り、「一人は悲しい（楽しい）のに、本当に友達なの。」「悪者になるのが分かっているのに、どうしてここまでしたの。」と問いかけ、道徳的価値のよさや実現することの難しさに気付かせる。（価値理解・人間理解）</li> </ul> <p>*展開前段で「本当の友達」について話し合うことで、友達について多面的に考え、仲間の意見に共感し、自己のものの見方や考え方を改めようとする力を身に付ける。（自己啓発力）</p>				
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;"><b>青おにの気持ち</b></td> <td style="width: 50%; text-align: center;"><b>赤おにの気持ち</b></td> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寂しいけど、赤おにのためだから、我慢しよう。</li> <li>・赤おにの役に立てたらうれしいな。</li> <li>・人間とずっと仲良く暮らしてね。</li> <li>・赤おにが喜んでくれると、ぼくもううれしいよ。</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青おにがいなくなってしまうって悲しいよ。</li> <li>・悪者にしてしまっただごめんね。</li> <li>・人間と仲良くなれたよ、ありがとう。</li> <li>・自分のことばかり考えてしまっていた。</li> </ul> </td> </tr> </table>		<b>青おにの気持ち</b>	<b>赤おにの気持ち</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寂しいけど、赤おにのためだから、我慢しよう。</li> <li>・赤おにの役に立てたらうれしいな。</li> <li>・人間とずっと仲良く暮らしてね。</li> <li>・赤おにが喜んでくれると、ぼくもううれしいよ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青おにがいなくなってしまうって悲しいよ。</li> <li>・悪者にしてしまっただごめんね。</li> <li>・人間と仲良くなれたよ、ありがとう。</li> <li>・自分のことばかり考えてしまっていた。</li> </ul>
	<b>青おにの気持ち</b>		<b>赤おにの気持ち</b>			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寂しいけど、赤おにのためだから、我慢しよう。</li> <li>・赤おにの役に立てたらうれしいな。</li> <li>・人間とずっと仲良く暮らしてね。</li> <li>・赤おにが喜んでくれると、ぼくもううれしいよ。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・青おにがいなくなってしまうって悲しいよ。</li> <li>・悪者にしてしまっただごめんね。</li> <li>・人間と仲良くなれたよ、ありがとう。</li> <li>・自分のことばかり考えてしまっていた。</li> </ul>			
<p>深めの発問</p> <p>○赤おにと青おには本当の友達と言えますか。それはどうしてですか。</p>						
<p><b>本当の友達</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・赤おにのために悪者になってくれたから。</li> <li>・青おにがいなくなると、とても悲しく思っているから。</li> <li>・相談したり、相談にのってあげたりしているから。</li> </ul> <p><b>本当の友達ではない</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青おにだけひとりぼっちになって、赤おには楽しく過ごしているから。</li> <li>・離れ離れになって、もう会えないから。</li> <li>・赤おには悲しい思いをしているから。</li> </ul> <p>本当の友達とは、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達のために一生懸命頑張れる。</li> <li>・相談し合ったり助け合ったりできる。</li> </ul>						
展開後段	3 自分の生活を振り返る。 ○今までの友達との過ごし方を振り返りましょう。また、今日の学習を通して、考えたことを書きましょう。 ・算数で分からないことがあったときに、いつも優しく一生懸命教えてくれて、とてもうれしかったです。 ・いつもすぐけんかになってしまうから、友達の気持ちを聞いたり考えたりして、仲良くして助け合いたいです。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「いつ」「どこで」「どんなことを」「どんな気持ちから」の視点で、振り返る。</li> <li>・振り返りで、特に今日の心と関連付けて書いている児童や、本時の中で気持ちの変容について書いている児童の考えを紹介する。</li> </ul>				
終末	○教師の説話をします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達のために一生懸命頑張っていた姿や、相談し合ったり助け合ったりしていた姿を紹介する。</li> </ul>				